

製品名: StARD13 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18342**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	125kDa

抗原情報

遺伝子名	STARD13
別名	STARD13; DLC2; GT650; StAR-related lipid transfer protein 13; 46H23.2; Deleted in liver cancer 2 protein; DLC-2; Rho GTPase-activating protein; START domain-containing protein 13; StARD13
遺伝子 ID	90627.0
SwissProt ID	Q9Y3M8
免疫原	抗血清はヒト STA13 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 101-150

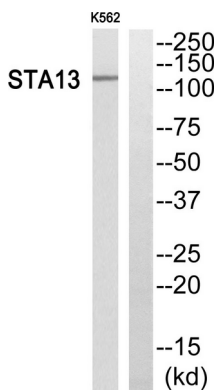
背景

この遺伝子は、タンパク質間相互作用のための N 末端不稔性 α モチーフ (SAM)、続いて ATP/GTP 結合モチーフ、GTPase 活性化タンパク質 (GAP) ドメイン、および C 末端 STAR 関連脂質輸送 (START) ドメインを含むタンパク質をコードします。この遺伝子は、細胞骨格の再編成、細胞増殖、および細胞運動の調節に関与している可能性があり、肝細胞癌細胞において腫瘍抑制因子として機能します。この遺伝子は、肝細胞癌におけるヘテロ接合性消失に関連する 13 番染色体の領域に位置しています。この遺伝子については、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが記載されています。[RefSeq 提供、2011 年 8 月]、機能: RhoA およびおそらく Cdc42 の GTPase 活性化タンパク質。細胞骨格の再編成、細胞増殖、および細胞運動の調節に関与している可能性があります。肝細胞癌細胞において腫瘍抑制因子として作用する。、類似性: Rho-GAP ドメインを 1 つ含む。、類似性: SAM (sterile alpha motif) ドメインを 1 つ含む。、類似性: START ドメインを 1 つ含む。、サブユニット: ホモ二量体。TAX1BP1 と相互作用する。、組織特異性: 普遍的に発現する。肝細胞癌細胞および一部の乳癌細胞株では低発現が認められる。、

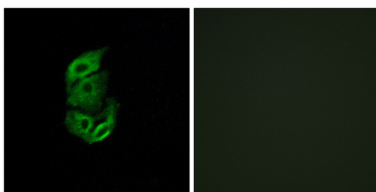
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達、転写、がん感受性、腫瘍抑制因子、細胞生物学、その他の抗体

画像データ



STA13 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは STA13 ペプチドでブロッキングされている。



STA13 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。